

MVNO参入、独自のサービスや端末も提供 プラザクリエイトがモバイル事業強化

DPEショップを展開するプラザクリエイトが今年3月、MVNOとしてLTEサービスを開始した。独自サービスや端末も発売し、本業であるプリントサービスとの融合を図る。

文◎村上麻里子(本誌)

全国にフォトサービスショップ「パレットプラザ」「55ステーション」を展開するプラザクリエイト(本社:東京都千代田区)は今年3月、イー・アクセスのMVNOとしてLTEサービス「PALETTE MOBILE EM」を一部店舗で開始した。下り最大75Mbpsの高速データ通信を月額3880円で提供する。

同社は2007年に併売店「携帯の王様」を買収し、携帯電話事業に参入した。携帯の王様やパレットプラザでマルチキャリアの端末販売を手がける一方、通信キャリアの販売代理店として、主要都市ではイー・モバイルショップとソフトバンクショップ、auショップを運営する。

カメラがアナログからデジタルに移行し、本業である写真のプリントサービス市場は縮小を続けており、

パレットプラザや55ステーションの店舗数も最盛期の半分程度まで減少している。その間、フィーチャーフォンに搭載されているカメラは高画素化・高機能化により、コンパクトカメラと遜色ないまでに進化した。しかも肌身離さず持ち歩くものだけに、ショット数はカメラをはるかに上回る。プラザクリエイトでは「携帯電話もデジカメの一種」と捉え、モバイル事業として注力してきた。

08年に日本でもiPhone 3Gが発売されると、「ディスプレイが大きく、画像を『撮る・楽しむ・共有する』ことがフィーチャーフォンと比べてはるかにわかりやすくなっている。スマートフォンで大きく変わると直感した」と、プラザクリエイト常務取締役で、プラザクリエイトモバイル代表取締役社長の村瀬伸行氏は言う。

スマートフォンがもたらす変化の可能性に注目した同社では、iPhone 3Gの発売と同時に取り扱いを開始、Androidも含めスマートフォン販売を強化してきた。本格的な普及期を迎えた昨年度は、パレットプラザと55ステーションの中から売場面積の広い店舗を選び、スマートフォンを前面に打ち出した「パレットプラザ フォト&スマートフォン」へのリニューアルを進めた。



プラザクリエイト
常務取締役
プラザクリエイト
モバイル代表取締役社長
村瀬伸行氏

現在、フォト&スマートフォンショップは首都圏を中心に26店舗ある。1店舗あたり月間120~130台のスマートフォンを販売しており、集客や売上に大きく貢献している。事業全体に占めるモバイル事業の比率は2011年度末時点で20%だが、「モバイル事業をプリントビジネスと並ぶもう一つの事業の柱に育てたい」と村瀬氏は話す(図表)。

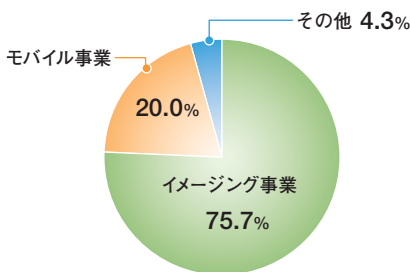
写真の楽しみ方を伝える

プラザクリエイトがフォト&スマートフォンショップで目指すのは、「スマートフォンによる写真の楽しみ方を伝える」ことだ。プラザクリエイトならではの持ち味を活かすことになり、キャリアショップや家電量販店との差別化にもなる。

そうした楽しみ方として、画像加工アプリがある。店頭でアプリを紹介し、そこからプリントサービスに誘導する。さらに、2011年11月より独自サービス「スマート本棚」のプレサービスを開始している。

ネットワーク上に仮想の本棚を作

図表 売上高における事業別構成比



2012年3月期決算の資料を基に作成
イメージング事業は写真サービス事業と撮影事業からなる